

# 朝来市景況調査書

平成 29 年 上半期

(調査対象：平成 29 年 1 月～3 月)

朝来市商工会

平成 29 年 7 月

## I. 景況調査

### 1. 景況調査について

#### ○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圏とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げる目的とします。

#### ○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報とも比較して調査書を作成します。

#### ○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、  
「良い」20% - 「悪い」30% = -10%  
となり、D. I. 値は-10 ポイントと示すことができます。

| 業況 | 件数   | 構成比  |
|----|------|------|
| 良い | 10 件 | 20%  |
| 不変 | 25 件 | 50%  |
| 悪い | 15 件 | 30%  |
| 合計 | 50 件 | 100% |

#### ○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査（1～3 月期）」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査（1～3 月期）」の調査結果を参照しています。

#### （対象期間における有効回答数）

|                           | 建設業   | 製造業   | 小売業  | サービス業 |
|---------------------------|-------|-------|------|-------|
| 兵庫県内中小企業の景況調査<br>（株みなと銀行） | 202 件 | 337 件 | 89 件 | 97 件  |
| 但馬管内の景気動向調査<br>（但馬信用金庫）   | 77 件  | 79 件  | 54 件 | 95 件  |
| 朝来市景況調査書<br>（朝来市商工会）      | 62 件  | 62 件  | 93 件 | 101 件 |

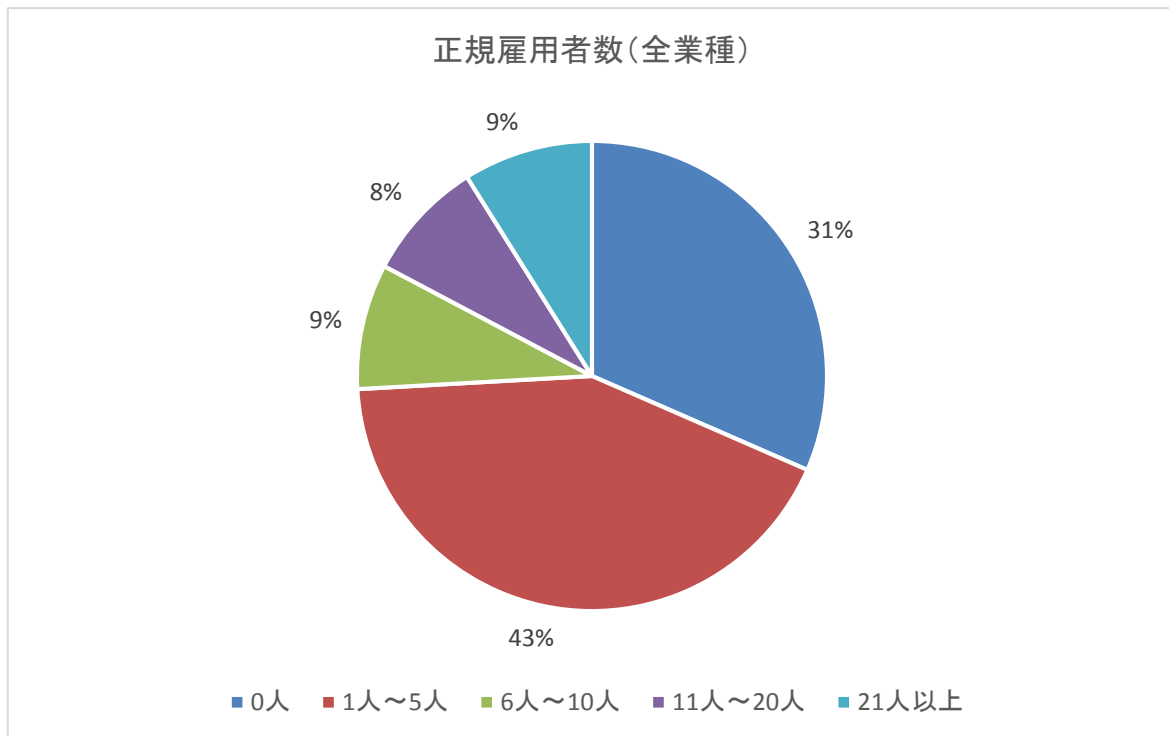
#### ○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計していますので、ご注意ください。

## 2. 共通質問事項（朝来市内）

### ○従業員の雇用状況について

#### ・正規雇用者について



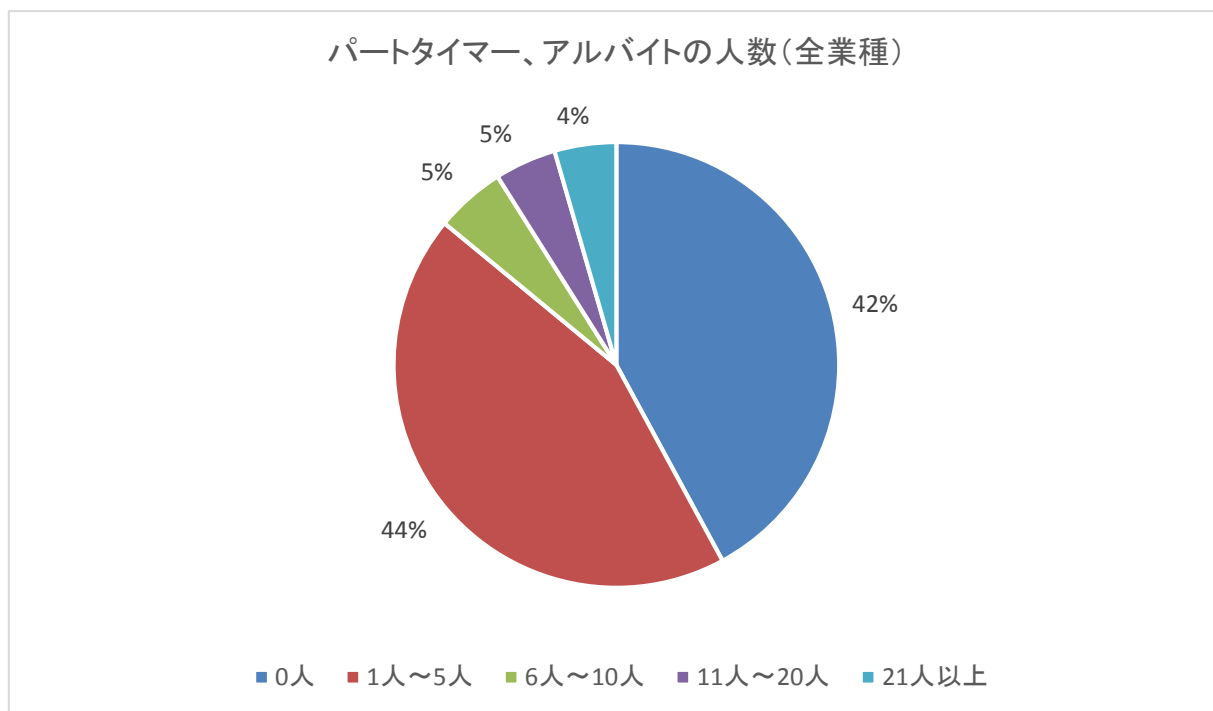
#### 【雇用者数について】

今回の調査に回答いただいた事業所の 31%は、正規の従業員（以下、従業員）を全く雇用していない事業所でした。最も多かったのが「1人から5人」で43%でした。従業員を21人以上抱えている事業所は全体の10%以下ではありますが、「製造業」の内25%は21人以上の従業員とご回答いただきました。逆に、「小売業」では従業員数が少なく、21人以上の従業員を抱えている事業所は3.3%に留まりました。

#### 【雇用の状況について】

全体の73%の事業所は、従業員数が「適正」と考えていらっしゃいます。一方で、残りの27%の事業所では「増やしたい、不足している」との回答となりました。中でも、人材不足は「建設業」で顕著に表れており、48%の事業所に「増やしたい、不足している」とご回答いただきました。最も充足感がある「小売業」においても、「適正」の回答は79%に留まり、5件に1件は新たな従業員の獲得を考えていらっしゃる、という状況にあります。

・パートタイマー、アルバイトについて



【雇用者数について】

今回の調査に回答いただいた事業所の42%は、パートタイマー及びアルバイト（以下、非正規従業員）を全く雇用していない事業所でした。最も多かったのが、「1人から5人」で44%でした。非正規従業員を21人以上抱えている事業所は全体の4%以下であり、最も比率が高い「製造業」でも11%という数値にとどまりました。特に「建設業」においては非正規従業員の比率が少なく、「6人以上」の非正規従業員を抱えている事業所は、全体の1.6%にとどまりました。

【雇用の状況について】

全体の82%の事業所は、非正規従業員数が「適正」と考えていらっしゃる状況で、正規従業員よりは充足感がある状況です。その一方で、「製造業」では30%の事業所が「増やしたい、不足している」とご回答いただいております。全業種の中で最も不足感が高まっている状況にあります。上述にもあるように、「建設業」においては、非正規従業員の雇用者数が少ないことから、「適正」とご回答いただいた事業者が92%と、非常に高い数字として結果に表れています。

なお、平成29年3月期における但馬地域の有効求人倍率は1.39倍となっており、前年同月と比較して増減がありません。仕事を求める人の「売り手市場」が続いている状況です。  
(但馬県民局「但馬の経済指標 平成29年1月～3月」参照)

## 1. 建設業（有効調査書数：62件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

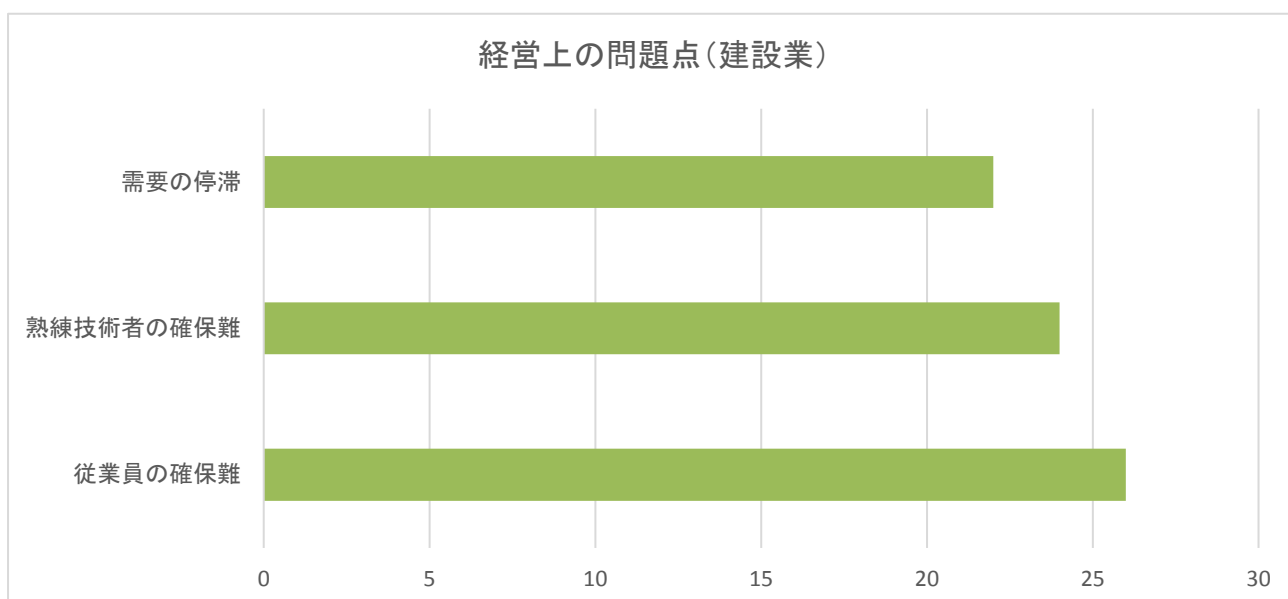
|    | 件数  | 構成比   |
|----|-----|-------|
| 好転 | 10件 | 16.1% |
| 不変 | 37件 | 59.7% |
| 悪化 | 15件 | 24.2% |

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より多く、景況判断値は『▲8.1ポイント』となりました。

| 地域               | D. I.     |
|------------------|-----------|
| 兵庫県<br>(みなと銀行)   | ▲9.5ポイント  |
| 但馬地域<br>(但馬信用金庫) | ▲31.2ポイント |
| 朝来市              | ▲8.1ポイント  |

建設業のD. I.を地域別に比較すると、朝来市の数値が最も良い数値となっています。しかしながら、但馬地域の全域で見ると、大口工事の減少などの原因もあり、兵庫県や朝来市単体よりも悪い数値になっています。

○経営上の問題点



建設業では経営上の問題点として「従業員の確保難」が26件の回答、選択率は全体の41.9%に及びました。これは、他の業種と比較して最も高い比率となっています。また、「熟練技術者の確保難」でも24件で38.7%に及ぶとともに、前述の「従業員の雇用状況」とも併せて、建設業における最大の課題は人材確保であることを感じます。

## 2. 製造業（有効調査書数：62件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

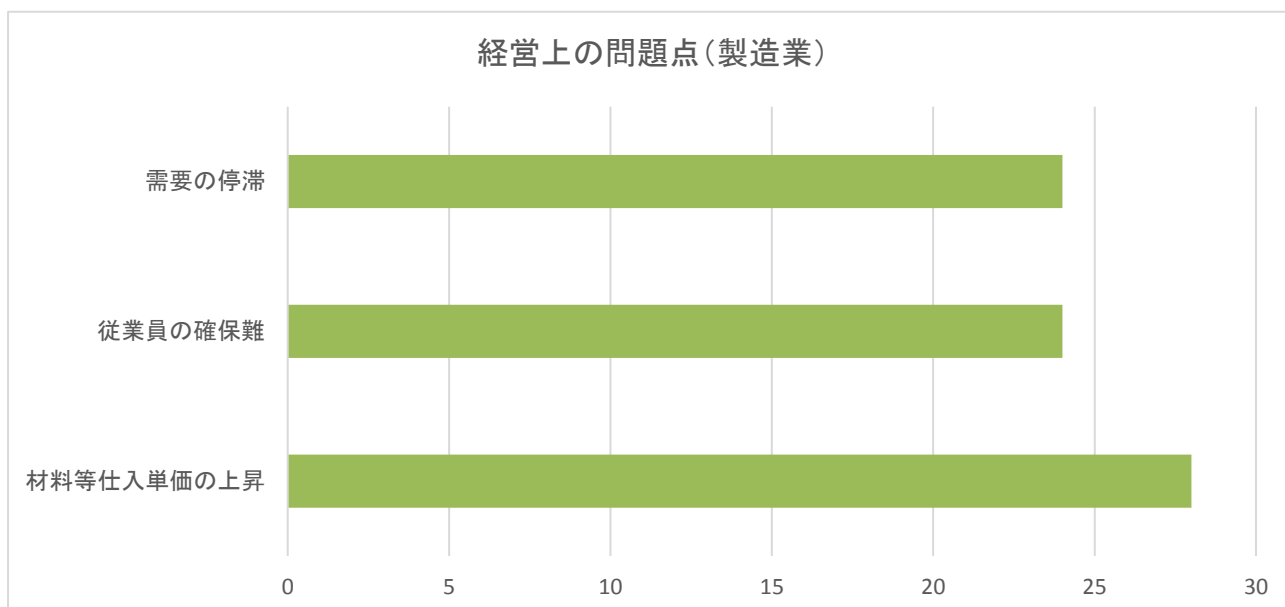
|    | 件数  | 構成比   |
|----|-----|-------|
| 好転 | 18件 | 29.0% |
| 不変 | 32件 | 51.6% |
| 悪化 | 12件 | 19.4% |

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「好転」とお答えいただいた事業者が「悪化」より多く、景況判断値は『9.7ポイント』となりました。

| 地域               | D. I.    |
|------------------|----------|
| 兵庫県<br>(みなと銀行)   | ▲9.2ポイント |
| 但馬地域<br>(但馬信用金庫) | 7.8ポイント  |
| 朝来市              | 9.7ポイント  |

朝来市、但馬地域のD. I. はプラスとなり、製造業の景況は回復傾向を感じます。兵庫県で見るとマイナスになっていますが、兵庫県の製造業における「売上高判断D. I.」を見ると6.0ポイントとなっており、他業種と比較してみると、回復の兆しを感じることができます。

○経営上の問題点



製造業では経営上の問題点として「材料等仕入単価の上昇」が28件の回答、選択率は全体の45.2%に及びました。また、建設業と同様に「従業員の確保難」にも多くの回答が挙がっていると同時に、同数の24件、全体の38.7%が「需要の停滞」を感じていらっしゃいます。

### 3. 小売業（有効調査書数：93件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

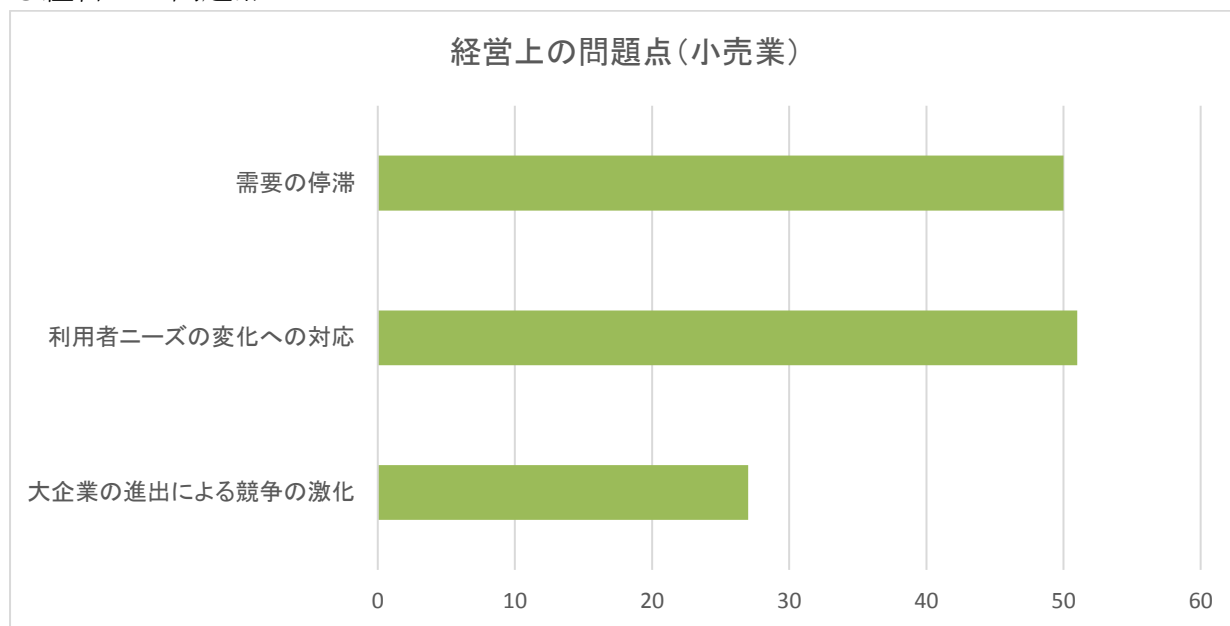
|    | 件数  | 構成比   |
|----|-----|-------|
| 好転 | 16件 | 17.2% |
| 不変 | 38件 | 40.9% |
| 悪化 | 39件 | 41.9% |

「悪化」とお答えいただいた事業者が最も多く、他の業種と比較して最も高い割合となりました。「好転」の回答も少なく、景況判断値も最も低い『▲24.7ポイント』となりました。

| 地域               | D. I.     |
|------------------|-----------|
| 兵庫県<br>(みなと銀行)   | ▲19.1ポイント |
| 但馬地域<br>(但馬信用金庫) | ▲42.6ポイント |
| 朝来市              | ▲24.7ポイント |

全ての地域において最も悪い D. I. 値を示しているのが小売業となっています。特に但馬の数値は前年同期と比較しても悪化しており、改善が見られない状況となっています。兵庫県では改善傾向にあり、来季の見通しとしても改善傾向の数値があがっています。

○経営上の問題点



小売業では経営上の問題点として「利用者ニーズの変化への対応」が51件の回答、選択率は全体の半数以上となる54.3%に及びました。また、同数程度の回答があがったのが「停滞の需要」で、50件の回答がありました。また、「大企業の進出による競争の激化」が、全業種の中で唯一3位以内にあがっており、他業種と比較しても競争の激しさを感じることができます。

#### 4. サービス業（有効調査書数：101件）

○昨年(4～6月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

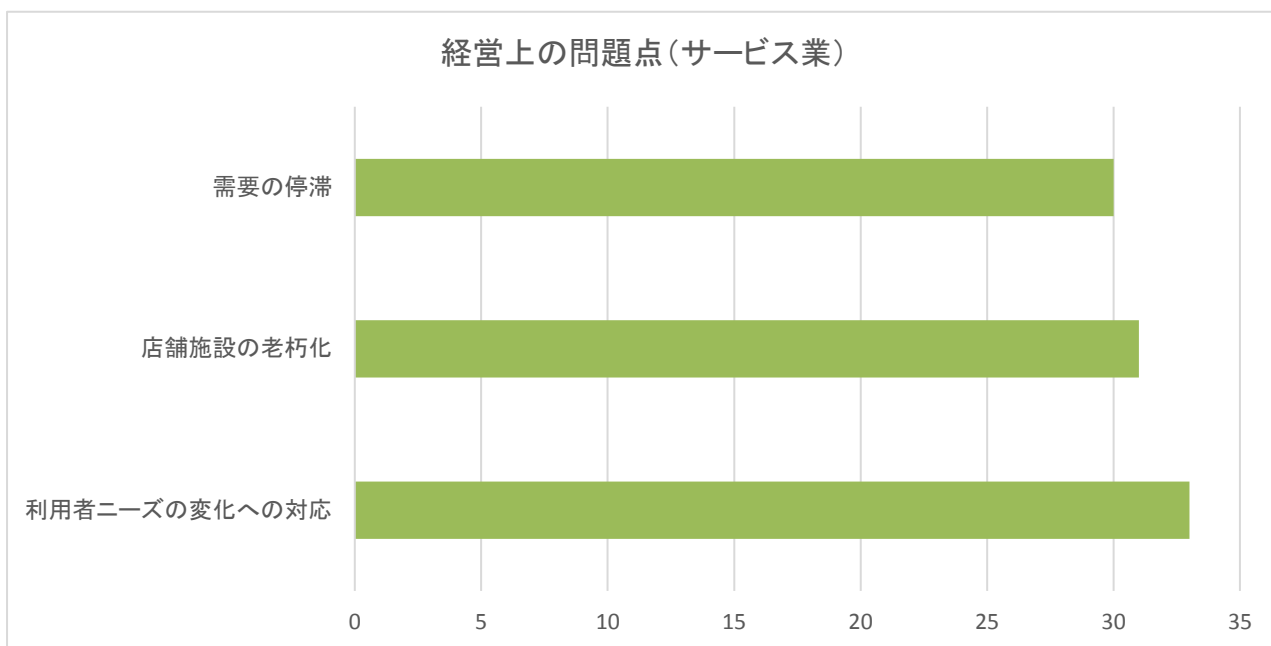
|    | 件数  | 構成比   |
|----|-----|-------|
| 好転 | 12件 | 11.9% |
| 不変 | 61件 | 60.4% |
| 悪化 | 28件 | 27.7% |

割合としては、「不変」とお答えいただいた事業者が最も多かったものの、「悪化」とお答えいただいた事業者が「好転」より多く、景況判断値は『▲15.8ポイント』となりました。

| 地域               | D. I.     |
|------------------|-----------|
| 兵庫県<br>(みなと銀行)   | 0.0ポイント   |
| 但馬地域<br>(但馬信用金庫) | ▲15.8ポイント |
| 朝来市              | ▲15.8ポイント |

但馬地域と朝来市において同様のポイントとなりました。但馬地域では悪化傾向にあるものの、兵庫県で見ると改善傾向であり、兵庫県の「売上高判断D. I.」もプラスに転じています。

○経営上の問題点



サービス業では他の業種と比較して経営上の問題点に大きな偏りはなく、一番多くを占めた「利用者ニーズの変化への対応」でも 32.4%の選択率に留まりました。上表の「需要の停滞」「店舗施設の老朽化」以外で 25%以上を占めた問題点としては、「人件費以外の経費の増加」「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」が選択されています。



## II. 需要動向調査

### 1. 需要動向調査について

#### ○本調査の目的

市内事業者が販売する商品や、提供する役務・サービスについての需要動向に関する情報、並びに地域経済動向に関する情報を整理・提供することで、事業計画の策定や商品開発、新たな情報を得るためのきっかけづくりとすることを目的とします。

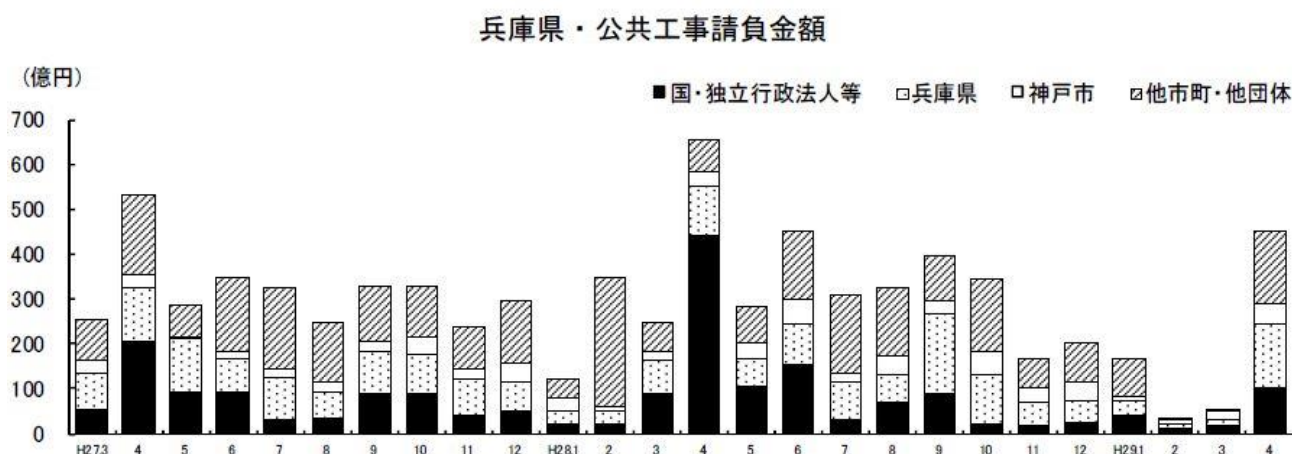
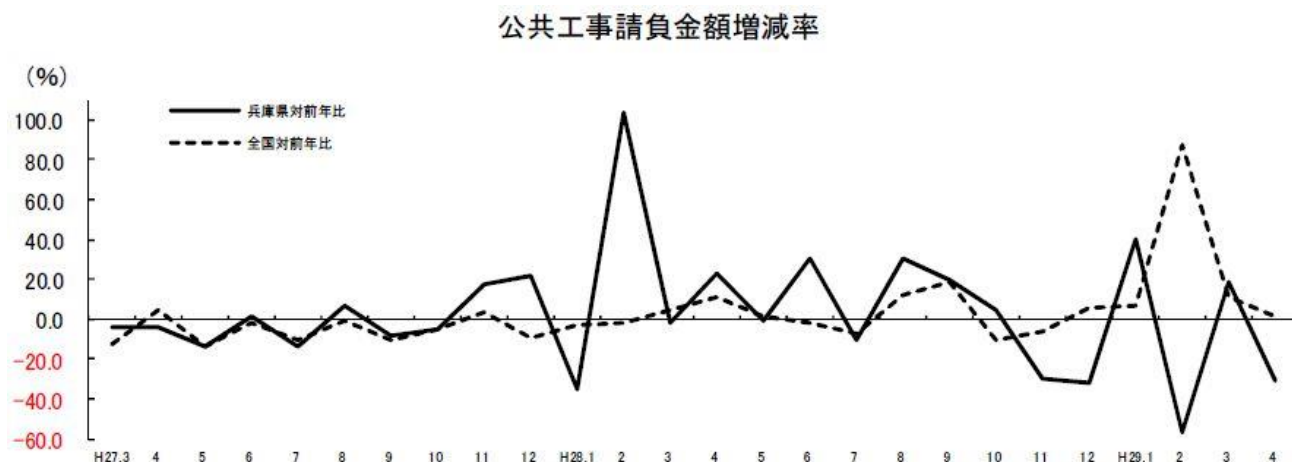
#### ○本調査書作成の方法

需要動向の情報となる国や県の調査結果、また「日経商品情報」、「日経MJ」などをもとに、近隣から全国的な範囲まで含めた動向を収集します。

### 2. 業種ごとの動向

#### ①建設業

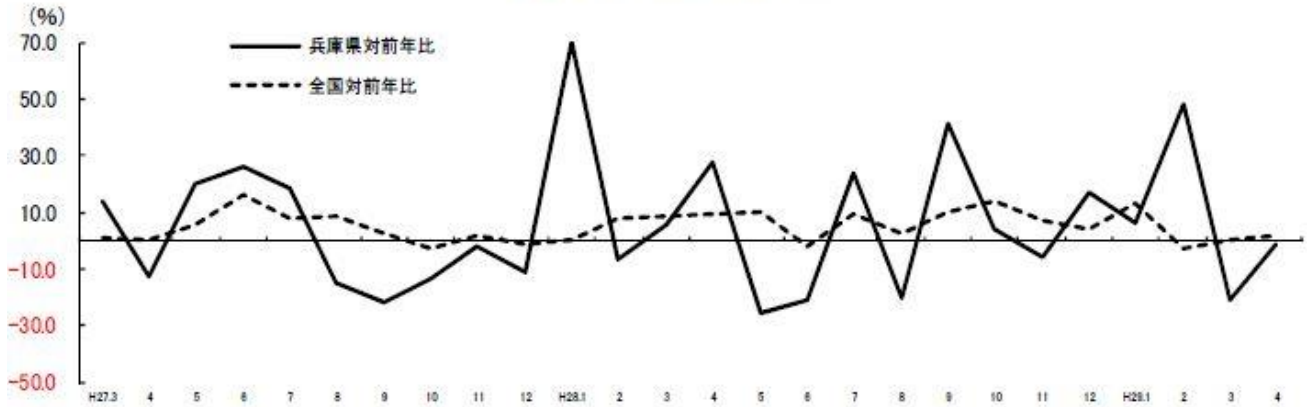
##### 【公共工事】



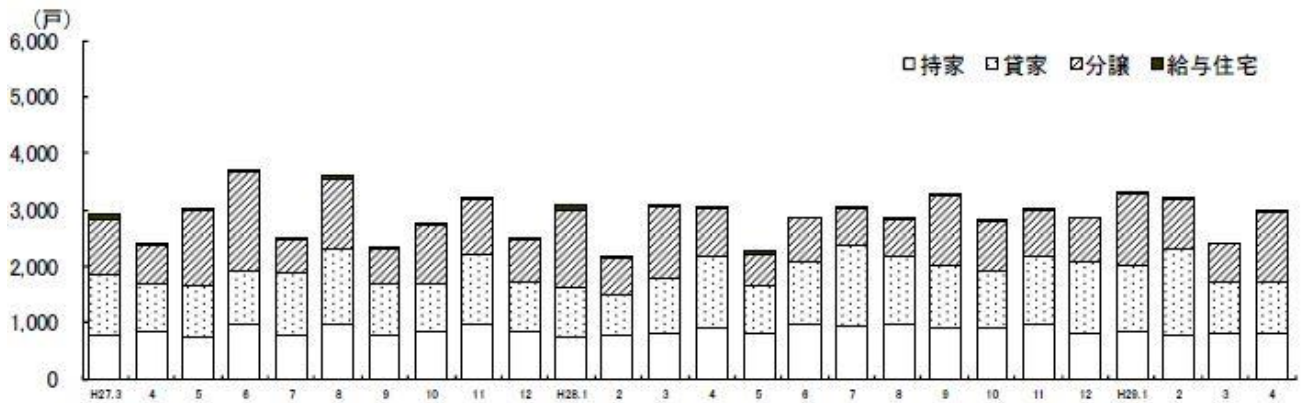
平成28年は年間を通じて公共工事請負金額が多い年となりました。その反面か、平成29年の滑り出しは低調で、県内建設業の景況にも影響が出ているものと捉えています。

## 【住宅着工】

新設住宅着工戸数増減率



兵庫県・新設住宅着工戸数



平成 29 年 4 月における住宅着工戸数は、貸家等の影響により前年同月比を下回っているものの、総じて横ばいにある様子が見受けられます。(以上、兵庫県「兵庫県の経済・雇用情勢」H29. 6. 8)

## 【プレハブ住宅】

プレハブ住宅において、平成 29 年 7～9 月期の新設着工戸数が堅調に推移、主力である貸家の好調が引き続き支援材料との見方になっています。

また、国土交通省が発表した 2016 年度の新設住宅着工戸数は 2 年連続で増加しています。相続税対策のためのアパート建設が全国的に広がり、貸家が同 11.4% 増の 42 万 7,275 戸と大幅に増えたことが市場全体をけん引。プレハブ住宅は 64% を占める貸家に引っ張られ、同 3.1% 増の 14 万 7,549 戸となりました。(クォーターリー日経商品情報 2017. 7～9)

※プレハブ住宅とは、主要構造部の壁、柱、床、はり、屋根などの部材を大量に工場生産し、現場でこれら部材を組み立てて建築する住宅のことをいいます。

## ②製造業

### 【金属製品製造業】

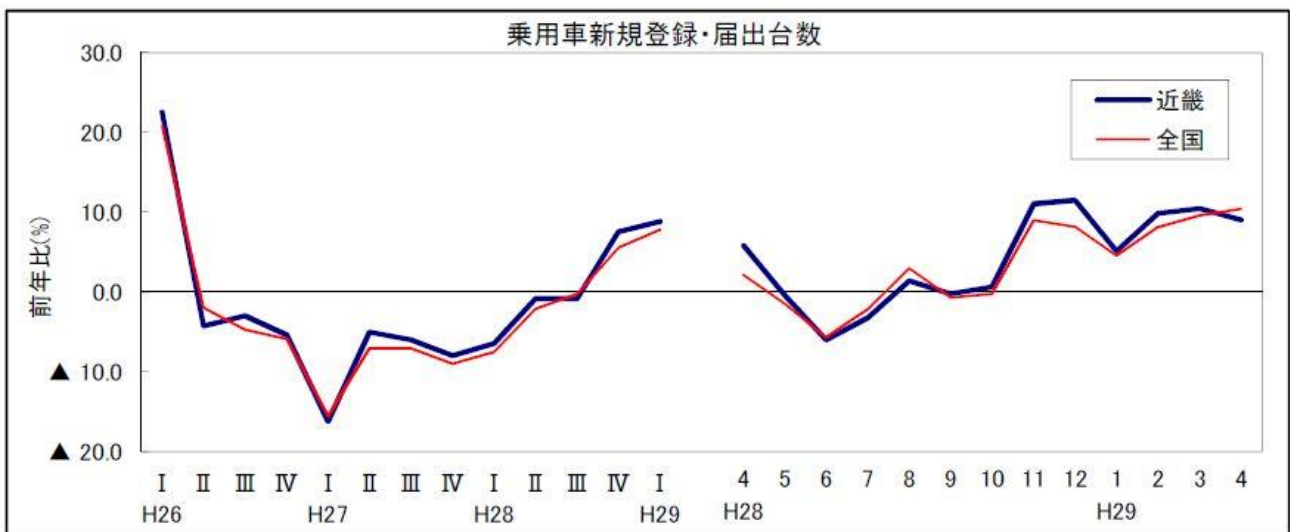
兵庫県内の金属製品メーカーによると、景況感が良い状況とのことである。工場自動化設備や自動車関係の需要が堅調に推移しており、工場の生産設備をフル稼働して対応している状況である。大卒の新規採用活動が難航しているほか、パート社員の定着率が悪く、補充人員の募集にも集まりが悪い状況である。国内の堅調な需要に対応するため、引き続き計画的な設備更新により生産体制の構築に努めていきたいとのことである。

### 【食料品製造業】

兵庫県内の食料メーカーによると、景況感が良いとのことである。4月は対前年比売上12%増となり、ゴールデンウィークの売り上げも良好であった。大量生産の大手との差別化を図り、独自性を保ちつつ新規顧客の獲得に努める一方で、購入者への定期的なDM発送など既存顧客最優先の販売戦略も継続していく。従業員用駐車場の拡大や生産設備への投資、ベースアップなどの賃上げを含め、魅力のある会社づくりにも力を入れたいとのことである。

(以上、兵庫県「兵庫県の経済・雇用情勢」H29.6.8)

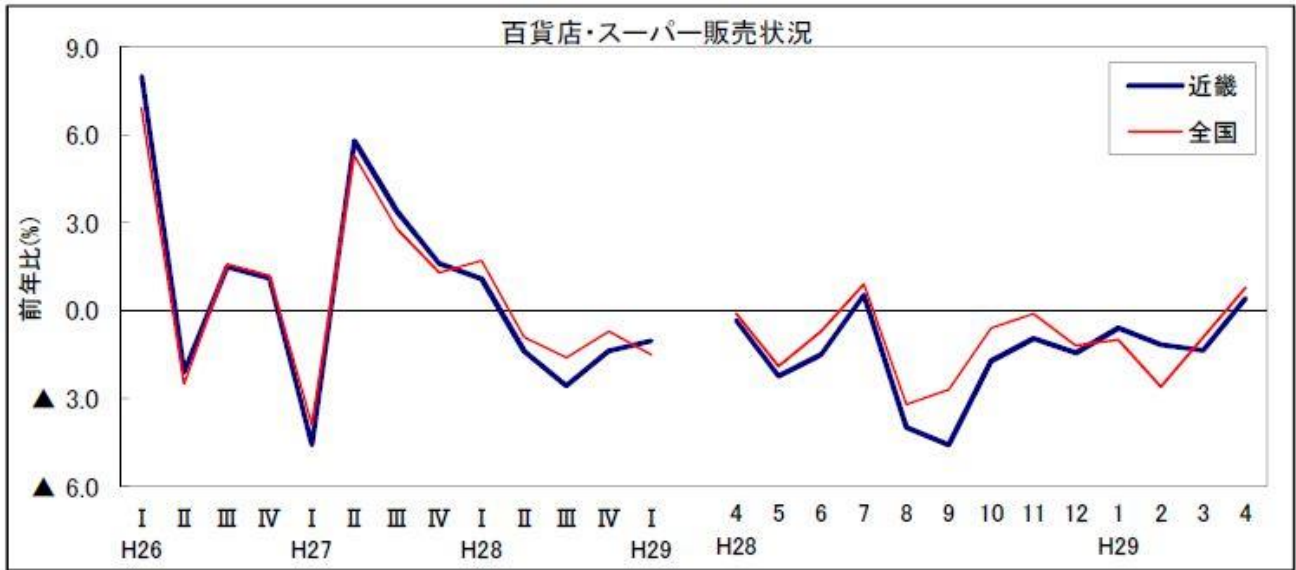
### 【乗用車】



近畿地方における平成29年4月の乗用車新規登録・届出台数は45,513台で、前年同月比9.0%増（全国は10.5%増）と、7ヶ月連続で前年を上回っています。また、普通車が9ヶ月連続、小型車が6ヶ月連続、軽四車が3ヶ月連続で前年を上回っています。(近畿経済産業局「近畿経済の動向」H29.6.21)

### ③小売業

#### 【百貨店・スーパー販売額】



4月の近畿地域の百貨店・スーパーの販売額は、前年より気温が低めに推移したため、衣料品をはじめとする春物商品が不調となったものの、訪日外国人に対する販売が好調であったことなどから、全店ベースで前年同月比0.4%増（全国0.8%増）と、9ヶ月ぶりに前年を上回りました。商品別にみると、衣料品等が前年を下回ったものの、「その他の商品」「飲食料品」が前年を上回りました。（近畿経済産業局「近畿経済の動向」H29.6.21）

#### 【商品情報－眼鏡】

眼鏡はかつてブームを呼んだ1個3,000円～9,000円クラスの低価格品需要が一巡した感が強い。一方で各メーカーが力を入れる同3万～5万円クラスの高価格品も売れ行きが伸び悩んでいる。百貨店での販売は訪日客増に伴うインバウンド需要で高価格品の販売も順調だったが、2017年に入ってから訪日客の買いが今ひとつ低調との見方となっています。

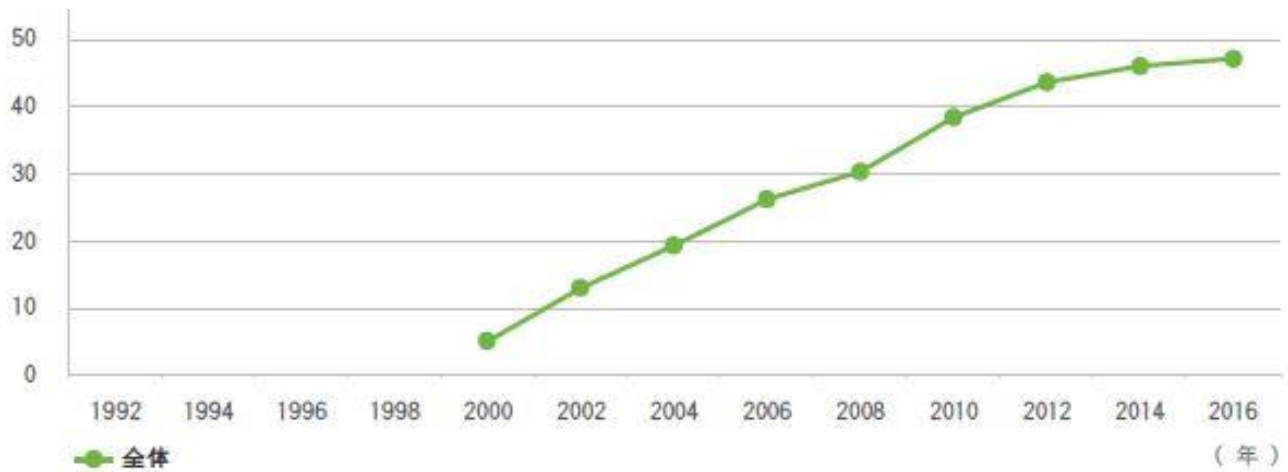
こうした中、眼鏡メーカーは30歳代や40、50歳代の中老年層向け遠視用眼鏡などの需要増に期待している状況にあります。スマートフォンの普及により、視力障害などで眼科にかかる人が増えており、そこで医師の判断を受けて処方箋を持って近所の眼鏡店などで眼鏡を購入する中高年が増え始めている。眼鏡業界では「こうしたケースでは1万円を超える眼鏡の購入が見込める」として期待されています。

#### 【商品情報－洋酒】

若者の酒離れなどを影響にアルコール飲料の需要低下が進む中、ウイスキーはハイボール人気が続く、消費は伸び続けています。ただ、原酒不足で増産が思うように進まず、メーカーは課税数量（出荷量）の伸びを抑えられています。輸入ウイスキーもスコッチを中心に順調との見方となっています。（以上、クォーターリー日経商品情報 2017.7～9）

## 【オンラインショッピングの利用】

オンラインショッピングで買い物をした



「1年以内にしたことは何ですか?」という質問に「オンラインショッピング（インターネットなど）で買い物をした」と答えた人の割合は、2016年は47.0%となりました。男女差には逆転がみられ、2016年は女性の方が約5ポイント高い結果となりました。地域差はしだいに大きくなっており、2016年は首都圏の方が約8ポイント高い結果となりました。年代別に見ると、30代が57.5%で全体より約10ポイント高く、逆に60代は、全体より約24ポイント低い23.1%となりました。

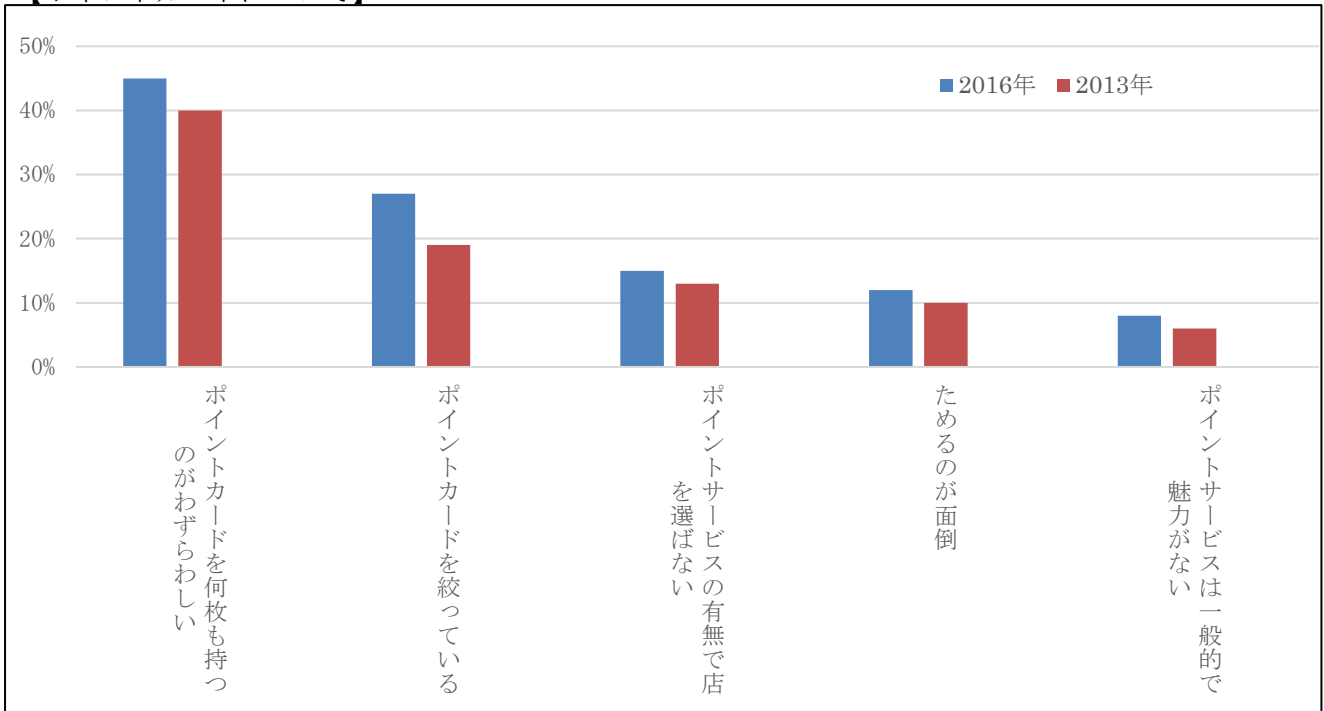
## 【今後のお金の使い方について】

|    | 1996                  | 2006                  | new 2016              |
|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1  | 旅行 [57.0%]            | 貯金 [54.2%]            | 貯金 [53.9%]            |
| 2  | 貯金 [51.2%]            | 旅行 [48.9%]            | 旅行 [45.5%]            |
| 3  | 外出着 [25.7%]           | 趣味 [40.2%]            | 老後の暮らしの準備 [39.4%]     |
| 4  | 健康診断・予防を含めて医療 [25.7%] | 子供のための教養・勉強 [32.3%]   | 趣味 [37.5%]            |
| 5  | ふだんの食事 [21.1%]        | 自分のための教養・勉強 [30.9%]   | 子供のための教養・勉強 [30.4%]   |
| 6  | 車 [20.9%]             | 健康・リラックス [30.5%]      | レジャー（旅行を除く） [29.4%]   |
| 7  | ふだん着 [18.7%]          | レジャー（旅行を除く） [30.2%]   | 健康診断・予防を含めて医療 [28.1%] |
| 8  | 家電品 [17.9%]           | 健康診断・予防を含めて医療 [30.0%] | 健康・リラックス [27.7%]      |
| 9  | 交際（飲食を含む） [17.2%]     | 外出着 [27.7%]           | 自分のための教養・勉強 [25.6%]   |
| 10 | 外食 [16.0%]            | 家電品 [24.3%]           | 外出着 [24.1%]           |

「今後、何にお金をかけたいと思いますか?」という質問への回答率のランキングを1996年・2006年・2016年の10年ごとに比較しています。男女別でもトップ2は同じですが、2016年でみると男性では「趣味」が3位、女性では「老後の暮らしの準備」が3位となっており、3位以下の順位では男女差が見られます。（以上、博報堂生活総研「生活定点」調査）

#### ④サービス業

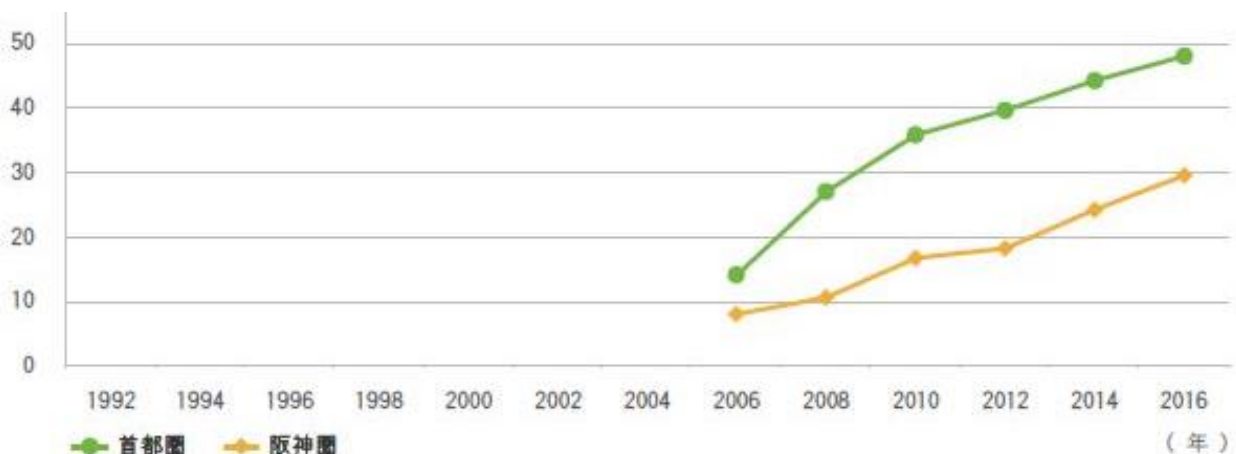
##### 【ポイントカードについて】



「ただ単にたくさん買ったらポイントがたまって割引になるという仕組みには、消費者はもう疲れている。」あまりに多くのポイントサービスがあふれ、「金銭的な損得を考慮することを面倒に感じる人が増えている。」との指摘があります。ポイントサービスを「なんとなく利用している」という積極的とはいえない人が 38.2%と、13 年調査時から約 9 ポイント増加しています。(日経MJ H29. 6. 9)

##### 【電子マネーの利用について】

##### 日常的に電子マネーを使っている



「日常的に電子マネーを使っている」と答えた人の割合は 42.6%となりました。関西圏でも 3 割に上っており、業種によっては新たな決済システムの導入を検討する必要性も考えられそうです。(博報堂生活総研「生活定点」調査)

## ○あとかき

朝来市景況調査書の作成は、今回で 3 回目を迎えました。調査書の回答にご協力いただきました方につきましては、誠にありがとうございました。

調査書につきまして、前々回(平成 28 年 7 月)は 178 件、前回(平成 28 年 12 月)には 292 件の回答をいただきましたが、今回は 318 件と、さらに多くのご協力いただきましたこと、深く感謝いたします。今回も多くの回答、データを集計させていただいたことで、より実態に沿った結果を反映できたのではと感じています。

当調査書の作成につきましては今後も継続的な取組みとして行ってまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(参考文献)※出典順

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行

但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

但馬の経済指標／但馬県民局

兵庫県の経済・雇用情勢／兵庫県

クォーター一日経商品情報／日本経済新聞社

近畿経済の動向／近畿経済産業局

生活定点調査／博報堂生活総研

日経MJ／日本経済新聞社

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

## 朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：http://www.asago.org/ メール：shokokai@asago.org